

監修…尾木 直樹

小学生の人权学習シリーズ

「人权」って なんだろう

ふざけていたのも、いじめなの?
自分も大切、他人も大切



これって、差別？

対象と単元

小学校（5・6）

道徳

他の人とのかかわり、
集団や社会とのかかわりに関するこ

総合的な学習の時間 人権教育



「指導の手引き書」付き

上映時間 14分

ビデオ版 69,300円(本体66,000円)

[C#0984]



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

<http://www.toei.co.jp/edu/>

小学生の人権学習シリーズ

「人権」ってなんだろう

特徴

- ・子供たちの生活シーンをスキット（ミニドラマ形式）にして、人権学習のケーススタディができる。
- ・ブロックごとに、指導の手引きをつけることで、人権についての参加型学習ができる。（ブレインストーミング、ワークシートなど）
- ・一人でも、集団でも学習できるよう、ナビゲーター役の黒板君が、重要箇所で問い合わせをする。
- ・集団での話し合いをスムーズにするため、子供たちが本音で話し合うドキュメンタリー映像を挿入。

目標

いじめ、差別、人権侵害を子供たちが、自分たちの問題だととらえ、その解決に向け、知恵を出し合い、行動に移すこと目標とする。

内容

自分も大切、他人も大切 (人権意識を身につける)

授業で人権について学んだ子供たちは、「自分史」を作り発表することになった。生まれてから、今までのエピソードをまとめることで、自分がどんなに愛されて育ってきたかがわかった。また友達の意外な一面を知ることになる。「自分もみんなに愛されて育ってきたように、みんなもそう。一人一人が大切な存在。これが『人権を尊重する』ってこと」由佳の発言にクラスメートの思いも同じである。

ふざけていたのも、いじめなの？

(人権侵害　いじめについて理解をする)

仲のいいクラスメートの少年たちが、サッカーで遊んでいる。その中の一人の背が低く、仲間から「豆」と呼ばれている。友人達に悪意はないのだが、それもいじめなのか？ そう呼ばれることに本人の心が傷ついていたら、それはやはりいじめなのではないか。子供たちは、それまで仲間はずれが怖くて、言い出せなかった少年の心を知り、反省をする。

ドキュメンタリーでは、子供たちが自分が体験したいじめを話し合う。

これって、差別？

(人権侵害　差別について考える)

アメリカから転校生がやってくる。期待に胸を膨らませる由佳たちだったが、アジア系のアメリカ人とわかり、がっかり。「なぜ、がっかりしているの？」と聞く黒板くんに対して、「やっぱり、アメリカ人なら、金髪で、青い目で」と、悪びれない由佳。「見かけで、人を判断する。それは、差別じゃないのかな」と言う黒板君の言葉に、自分も差別していたことを知る。

ドキュメンタリーでは、今まで人を見かけて判断したことについて、子供たちが語り合う。

プロデューサー … 喜多 香織 監督 … 芹澤 誠
金野 耕希 脚本 … 丸山 正樹

制作協力 … (株) 東京ビデオセンター
企画・制作 … 東映株式会社 教育映像部

2004年作品

NEW 小学生の人権学習シリーズ 発売中
私の権利、みんなの権利

●お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101